

令和4年度 決算の概要

まちの家計簿

令和4年度一般会計・特別会計(国民健康保険・公共下水道事業・介護保険・簡易水道事業・後期高齢者医療)、水道事業会計の決算が町議会で認定されました。

■問合せ 企画財政課財政係 (☎ 74 - 3004)

令

和4年度も近年と同様に限られた財源を有効活用して事業を行いました。前年より決算額が減少した理由は、普通建設事業が前年度比で50・0%の減で、洞爺駅エレベーター整備事業や高度無線環境整備事業など令和3年度完了事業分によるものです。実質公債費比率は減少したものの、繰越金(貯金の切り崩し)の増加や、公債費(借金)が多額で推移しているなど、町の財政は依然として厳しい状況となっています。

■町税 11億8464万円

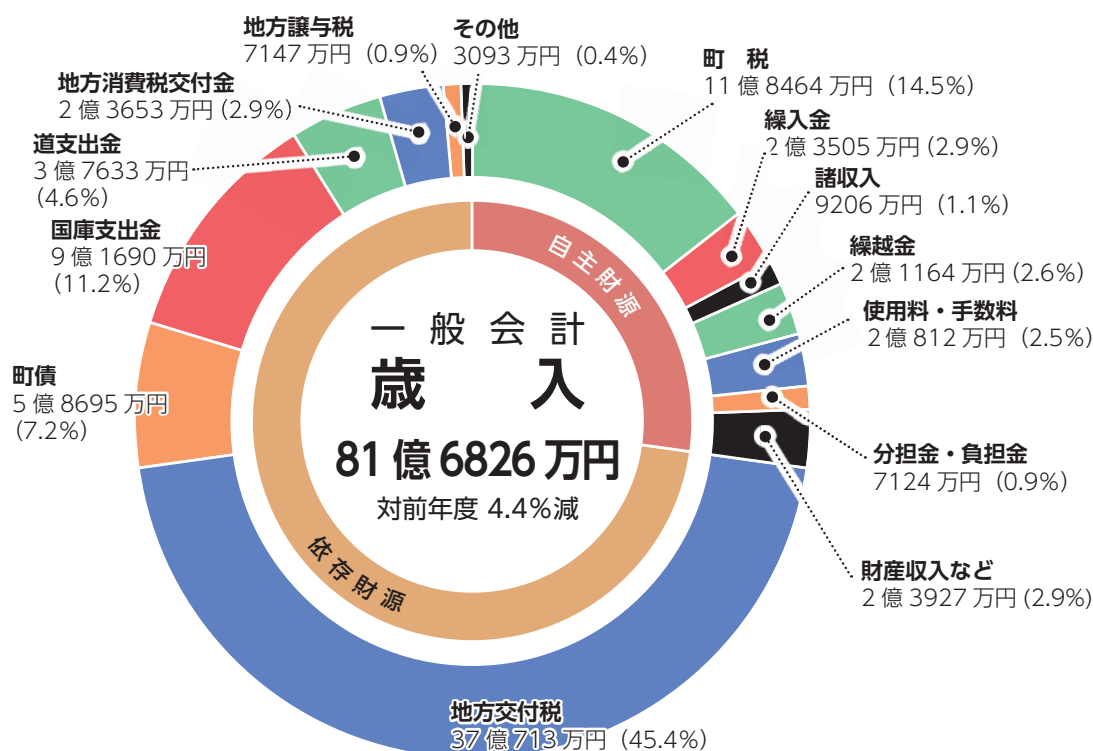
主な自主財源である町税は町民税が3・8%増、固定資産税が15・8%増、たばこ税が8・6%増、入湯税が87・1%増。町税全体では15・5%が主に新型コロナウイルスの影響の軽減により増加しました。

歳入全体に占める地方交付税の割合は令和4年度決算は45・4%で町税収入の14・5%を大きく上回り、町にとっては欠かせない財源です。

町税をはじめ町が独自に確保できる自主財源は、町全体の収入の27・4%で、残りの財源を国や道からの支出金などが占め、依存財源の割合が72・6%と高くなっています。

■町債残高 84億1436万円

令和4年度一般会計では主に施設整備に要する費用をまかなうため、5億8695万円の町債を借入れました。町債の償還額は9億7784万円で町債残高は令和3年度末の87億5906万円から3億4470万円減少し、令和4年度末で84億1436万円となりました。



収支の状況

歳入 (町に入ったお金) 81億6826万円 - 歳出 (町が使ったお金) 78億8536万円 = 2億8290万円



次年度に必要なお金を引いて…

2億6597万円
が繰越金となります

町の財政指標

▶ 経常収支比率は **90.1** % (前年度比 2.5 ポイント増)

※経常収支比率は、人件費など経常的に支出する経費に対し、経常的な収入がどの程度含まれているかを示すものです。



サラリーマンの給料に例えた場合

月給 30 万円 × 90.1 %



27 万 300 円 が食費や家賃など毎月必要な生活費となります

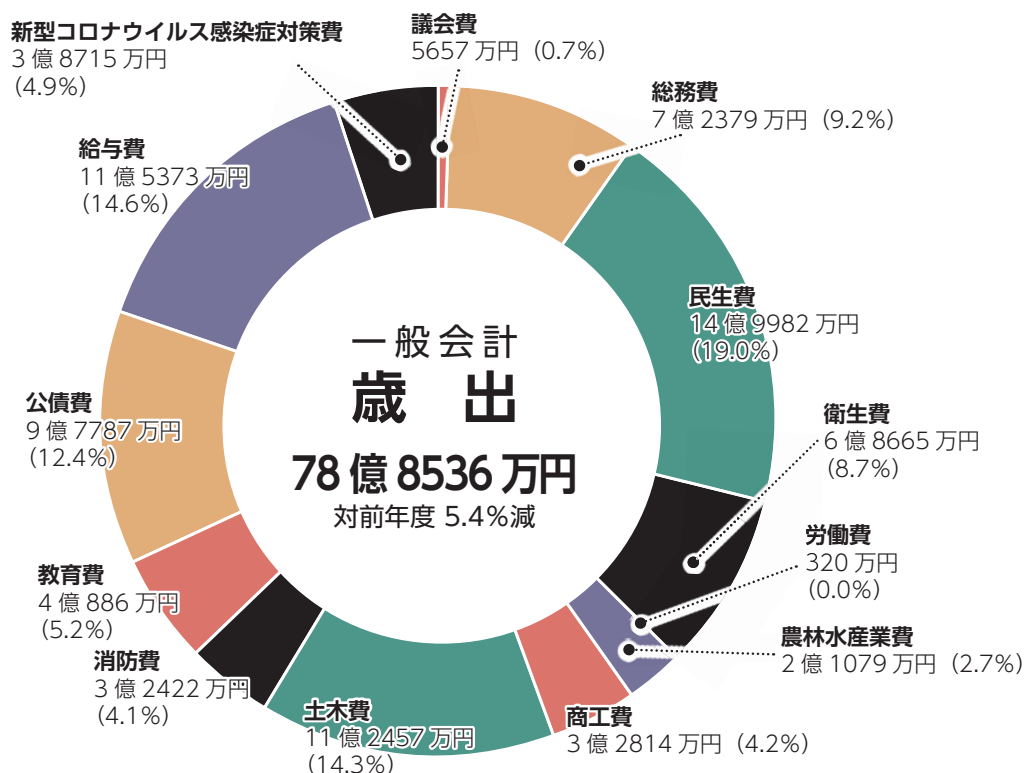
自由に使えるお金・・・**2 万 9700 円**

町の経常収支比率は、全道の町村平均値 88.4% (令和 3 年度決算数値) を上回っているため、さらなる経常経費の節減に努める必要があります。

▶ 実質公債費比率は **10.4** % (前年度比 0.2 ポイント減)

実質公債費比率は、自治体の収入に対する借金返済額の割合を示す比率です。当町の実質公債費比率は 10.4% で、全道の市町村の平均値 6.9% (令和 3 年度公表値) を大きく上回っています。

数値が高い要因として有珠山災害復旧事業などに要した借り入れが大きく影響していて、今後は新たな借入を抑制し、借金を返済することで比率を減少していく必要があります。



町債 (借金) の残高を
町民一人当たりの負担に例えると…



約 104 万円
(前年度比 3 万円減)

※今年 3 月末住民基本台帳人口
8095 人として算定

将来世代の負担
軽減に努めてい
きます



特別会計

の状況



■国民健康保険特別会計

令和4年度の1年間の歳入12億735万円から歳出11億9936万円を差引いた額は、799万円（実質収支）となり、令和5年度に繰り越しました。

■公共下水道事業特別会計

令和4年度の1年間の歳入5億8786万円から歳出5億8030万円を差引いた額は、756万円（実質収支）となり、令和5年度に繰り越しました。

■介護保険特別会計

令和4年度の1年間の歳入12億2286万円から歳出11億7554万円を差引いた額は、4732万円（実質収支）となり、令和5年度に繰り越しました。

■簡易水道事業特別会計

令和4年度の1年間の歳入1億3663万円から歳出1億3125万円を差引いた

額は、538万円（実質収支）となり、令和5年度に繰り越しました。

■後期高齢者医療特別会計

令和4年度の1年間の歳入1億7619万円から歳出1億6993万円を差引いた額は、626万円（実質収支）となり、令和5年度に繰り越しました。

（単位：万円、%）

区 分	予算現額	歳 入		歳 出	
		決算額	収入率	決算額	執行率
国民健康保険特別会計	124,733	120,735	96.8	119,936	96.2
公共下水道事業特別会計	67,401	58,786	87.2	58,030	86.1
介護保険特別会計	121,685	122,286	100.5	117,554	96.6
簡易水道事業特別会計	13,700	13,663	99.7	13,125	95.8
後期高齢者医療特別会計	17,788	17,619	99.0	16,993	95.5

水道事業会計

の状況



収益的収支については、収入が2億4321万円（消費税込金額2億6188万円）、支出が2億4052万円（消費税込金額2億4850万円）で、当期純利益が269万円となりました。資本的収支については、収入が1億5133万円、支出

が2億3149万円となり、不足額8016万円は当該年度消費税や地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金で補てんしました。



（単位：万円、%）

区 分		予算現額	決算額	執行率
収益的収支	収 入	26,050	26,187	100.5
	支 出	26,050	24,850	95.4
資本的収支	収 入	15,681	15,133	96.5
	支 出	23,779	23,149	97.3

※予算現額と決算額は、消費税込みの金額です。

町有財産

の状況



土 地 12,028,702㎡

（内訳）

公の施設 2,335,498㎡

宅 地 91,914㎡

山 林 2,922,271㎡

保 安 林 5,485,741㎡

原 野 910,341㎡

雑 種 地 195,121㎡

そ の 他 87,816㎡
（農地などの地目）

建 物 148,092㎡

有価証券 8,955万円

出 資 金 2,713万円

基 金 37億8,488万円

基金のうち歳入不足を補てんするために使用できる基金の残高は、総額で17億1983万円（前年度17億1711万円）、積立預金の運用利息などで前年度比272万円増加しました。

内訳は、財政調整基金12億5631万円、減債基金1億5083万円、備荒資金組合積立金のうち超過納付分3億1270万円です。

地方債年度末現在高

■一般会計

(単位：万円、%)

区 分	令和 4 年度末残高	構成比
一般公共事業債	18,262	2.2
公営住宅建設事業債	112,211	13.3
災害復旧事業債	2,369	0.3
緊急防災・減災事業債	133	0.0
全国防災事業債	976	0.1
教育・福祉施設等整備事業債	3,830	0.5
一般単独事業債	332,093	39.5
過疎対策事業債	129,423	15.4
減税補てん債	623	0.1
臨時財政対策債	240,126	28.5
臨時補てん債特例分	1,390	0.2
合 計	841,436	100.0

■公共下水道事業特別会計

(単位：万円、%)

区 分	令和 4 年度末残高	構成比
下水道事業債 (特環)	7,002	3.5
下水道事業債 (公共)	88,015	44.2
資本費平準化債 (公共)	101,202	50.9
減収対策事業債 (公共)	0	0
公営企業適用債 (公共)	2,770	1.4
合 計	198,989	100.0

■簡易水道事業特別会計

(単位：万円、%)

区 分	令和 4 年度末残高	構成比
簡易水道整備事業債	38,446	97.5
減収対策事業債	0	0
公営企業適用債	980	2.5
合 計	39,426	100.0

■水道事業会計

(単位：万円、%)

区 分	令和 4 年度末残高	構成比
水道事業債	106,784	100.0
合 計	106,784	100.0

令和 4 年度
決 算

健全化判断比率と資金不足比率の公表

■健全化判断比率

(単位：%)

区 分	令和 4 年度比率	令和 3 年度比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	—	15.00	20.00
連結実質赤字比率	—	—	20.00	30.00
実質公債費比率	10.4	10.6	25.0	35.0
将来負担比率	24.4	30.9	350.0	—

※各比率の「—」は、赤字または資金不足がないことを表しています。

■資金不足比率

(単位：%)

会 計 名	令和 4 年度比率	令和 3 年度比率	経営健全化基準
水道事業会計	—	—	20.0
公共下水道事業特別会計	—	—	20.0
簡易水道事業特別会計	—	—	20.0

※各比率の「—」は、赤字または資金不足がないことを表しています。

地方公共団体の財政の健全化に関する法律（平成 19 年法律第 94 号）第 3 条第 1 項及び第 22 条第 1 項に基づき、令和 4 年度決算により算定した健全化判断比率及び資金不足比率は、次のとおりです。

算定の結果、実質公債費比率は 0・2 ポイント減、将来負担比率は 6・5 ポイント減となりました。

引き続き財政の健全化に向けて、町民の皆さんの理解と協力を得ながら進めていきます。